

**2018年度 第73回国民体育大会陸上競技青森県選手選考会
兼第45回東北総合体育大会陸上競技青森県選手選考会
兼第49回東北陸上競技選手権大会青森県選手選考会
実施要項**

- 1 主催 一般財団法人青森陸上競技協会
 2 共催 青森県高等学校体育連盟陸上競技専門部
 3 後援 青森県教育委員会・公益財団法人青森県体育協会・青森県中学校体育連盟
 4 主管 一般財団法人青森陸上競技協会・むつ市陸上競技協会
 5 期日 2018年7月6日(金)～8日(日)
 6 場所 むつ運動公園陸上競技場 (〒035-0077 むつ市山田町43-1)
 7 競技開始 1日目 9:30 2・3日目 9:00
 8 種目 「種目一覧表」を参照し、男女種目別や年齢区分、重さにご注意ください。

男子	1日目	400m・1500m・少年B3000m(予)・10000m・少年共通110mH(0.991m) 5000mW・4×100mR・走幅跳・走高跳・少年B砲丸投・ハンマー投
	2日目	100m・少年B100m・800m(予・準)・少年B3000m(決)・110mH・3000mSC 4×400mR(予)・棒高跳・三段跳・砲丸投・円盤投・少年Aハンマー投
	3日目	200m・800m(決)・5000m・400mH・4×400mR(決) 少年B走幅跳・少年共通円盤投・やり投
女子	1日目	400m・1500m・10000m・少年B100mH(0.762m)・5000mW・4×100mR 走幅跳・砲丸投・ハンマー投
	2日目	100m・少年B100m・800m(予・準)・100mH・3000mSC・4×400mR(予) 棒高跳・三段跳・円盤投
	3日目	200m・800m(決)・3000m・400mH・4×400mR(決) 走高跳・少年B走幅跳・やり投

○少年共通：高校生以下 ○少年A：高校2～3年生 ○少年B：中学3年～高校1年生、

※女子3000mもしくは10000mに出場し、東北総体・国体(成年)において5000mに出場
 の意思がある選手は、申し込みの際、メールの本文にその旨を記載してください。

9 参加資格

①2018年度青森陸上競技協会登録者。

もしくは

②他県での登録選手で、国民体育大会や東日本女子駅伝、都道府県対抗男子・女子駅伝において「青森県でのふるさと選手」としての参加資格・参加意思のある選手。

※1 一般選手の未登録者は青森陸上競技協会HPより必ず登録終了後申し込んで下さい。

※2 ②の「青森県でのふるさと選手」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が青森県である。この資格での参加の場合、競技会用ナンバーカードを配布します。ナンバーカード代200円を参加料と一緒に納入して下さい。このナンバーカードは今年度、青森県内の競技会で使用できますので、納入は

年間で1回のみとなります。なお、これは競技会用のナンバーカードを登録するのみとなり、青森県での選手登録（日本陸連登録）とは異なり、他県での登録との二重登録にはなりません。参加する場合は、順位にも含まれ、決勝ラウンドまで進むことも可能です。（昨年度と異なります）

- ※3 他県で選手登録をしている選手で、「青森県でのふるさと選手」の資格がなく、今大会に参加意思があるものは、申込方法に記載の【申し込みに関する問い合わせ先】へお問い合わせ下さい。参加する場合は、オープン参加とし、公認記録ではあるが順位には含まないことを併せてお知らせします。

注意：国民体育大会本戦へ出場的意思がある選手は、青森県春季陸上競技選手権大会もしくは国民体育大会陸上競技青森県選手選考会へ出場しなければなりません（エントリーだけだと、参加資格がなくなります）。

10 出場制限

一人3種目以内とする。（ただしリレーを除く。）リレーチーム数は制限なし。

【国体種目の出場区分について】

- ア 成年の部に参加する競技者は、平成12年4月1日以前に生まれた者とする。
- イ 少年Aの部に参加する競技者は、平成12年4月2日以降平成14年4月2日までに生まれた者とする。
- ウ 少年Bの部に参加する競技者は、平成14年4月2日以降に生まれた者とする。（ただし、中学生は3年生のみ参加できる。）

11 申し込み

メールにて6月13日（水）23:59まで必着で申し込んで下さい。

青森陸上競技協会HP（<http://www.jomon.ne.jp/~arikkyo/>）を参照し、青森陸上競技協会競技部まで申し込んでください。申し込みは6月1日（金）からとなります。

【申込専用メールアドレス】

- 高等学校申込アドレス shkokutaiyosen2018@mutsu-rk.jp
- 中学・大学等申込アドレス kokutaiyosen2018@mutsu-rk.jp
- 一般個人用申込フォーム <http://sofcom.ne.jp/mutsu-rk/kokutaiyosen2018/>
- 他県登録者申込アドレス numayama-kazuya@m04.asn.ed.jp

※高等学校で不参加の場合は申込アドレスに「不参加」と送信してください。

【団体登録者】中学・高校・一般・大学（大学内で2名以上の場合）

登録者（代表者）に、メールで申込ファイルを送信いたします。メール受信者側のパソコン環境によって、迷惑メールフォルダ等に送付されている場合があります。申込締切1週間前になっても申込ファイルが届かない場合は、申込締切に間に合うように、下記の【申し込みに関する問い合わせ先】まで連絡ください。

申込ファイルに、参加者を記入し、申込専用メールアドレスに送信して下さい。メールアドレスは、大会毎に異なりますので、ご確認願います。参加料は各団体で取りまとめた上、団体名（振込人名）がわかるように振り込んでください。

【個人登録者】一般・大学（大学内で1名のみの場合）

上記の【申込専用メールアドレス】の「一般個人用申込フォーム」より参加の申

し込みをしてください。

【申し込み注意点】

- 大会申込作業を代行会社に委託しているため、申込締切後、申込変更（ナンバー、氏名、所属、学年、種目等）や申込遅延などの受付はできない。当日の追加・訂正も受け付けない。
- 申込ファイルについて、様式（セル内の数式、ロック）を変更せずに入力してください。変更した場合、申込ファイルを受付できません。
- 申込を受付した際、必ず業者からその旨を伝えるメールが返信されます。そのメールの受信を必ず確認してください。返信メールがない場合は、受付が完了していない可能性があります。
- 登録番号（ナンバーカード）の入力について
 - ・昨年度の登録番号を忘れずに入力してください。
 - ・新中学1年生や2017年度未登録者、登録番号の不足については、入力しないでください。その番号については、事務局で割り当てし、連絡いたします。
- 申し込みファイルを削除してしまった場合や、締切1週間前までに申込ファイルが届かないといった場合など、申し込みに関して不明な点がある場合は下記【申し込みに関する問い合わせ先】へお問い合わせください。

【申し込みに関する問い合わせ先】

青森陸上競技協会競技部 沼山一弥 numayama-kazuya@m04.asn.ed.jp

12 参加料

個人1種目1,000円、リレー1チーム1,500円

必ず申し込みと同時（同日中）に、銀行振込で納入してください。

【振込先】 青森銀行 八重田（ヤエダ）支店 普通 1204884

あおもりりくじょうきょうぎきょうかいきょうぎぶ
青森陸上競技協会競技部 代表 かわした 川下 ともり 友徳

※手数料は、各団体で負担してください。振り込みの際は、全ての個人種目数・リレーチーム数のエントリー分の参加料を合計した金額を、一括して振り込むこと。

※振込名は、通帳記帳の印字に制限があるため、学校名が判別できるように入力してください。

振込名はプログラム記載学校名が望ましいです。

例1) 青森県立青森工業高等学校の場合、青森県立はつけないで、学校名を省略して「アオモリコウギョウ」等のように記入する。

例2) 一・二・三や東西南北が付く中学校は市町村も付けて入力する。

弘前市立第一中学校 →×「イッチュウ」 ○「ヒロサキイッチュウ」等

八戸東高等学校 →×「ヒガシコウコウ」○「ハチノヘヒガシコウコウ」等

例3) 日本大学文理学部体育学科1年 青森太郎（個人）1名しか出場者がいない場合、学部・学科、学年はつけないで、名前を明記してから、学校名を省略して「アオモリタロウ ニチダイ」等と記入する。

※本大会参加料の振込先と選手登録料『青森県競技者登録』の振込先は異なります。間違えて振り込むことのないようご注意ください。なお、申込締切後、個人・団体・学校事情等による参加料の返金には応じられませんのでご了承ください。

- 13 **参加料の領収書について** 参加料は銀行振込のため、銀行振込明細書をもって参加料の領収書の発行に代えます。銀行振込明細書が税務上も正規の領収書となります。ただし、参加団体で銀行振込明細書とは別に、領収書の発行を希望する場合は、青森陸上競技協会HPより「領収書」の様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、銀行振込明細書とともに受付に持参ください。受付にて内容を確認の上、押印して領収書をお渡しします。
- 14 **申込状況の確認** 申し込み状況及び参加料の振り込み状況は、青森陸上競技協会HPで確認できます。担当者が手作業で行うため、HPに掲載されるまで時間がかかることもあります。
- 15 **表彰** 第1位～第8位までを表彰する。
- 16 **その他**
- ・各参加団体でスポーツ障害保険等に加入の上、本大会に参加してください。
 - ・本競技会で得た個人情報については、個人情報の保護に関する法律を遵守し、競技運営に必要な連絡などに利用する。また、運営や宣伝などの目的で、プログラムやインターネットなどの媒体に掲載することもある。
 - ・棒高跳のポール以外の用具は、原則として競技場備え付けの物を使用します。
 - ・組み合わせは、2018年4月1日から2018年6月13日までの記録を参考に、機械による抽選をして決定します。
 - ・主競技場は大会前日の5日（木）は、むつ市陸上競技協会のご厚意で、本大会出場者の練習用に貸切しています。前日に練習する場合は、各参加団体（校）・者で責任をもって行ってください。
 - ・テント設営のための場所確保は、5日（木）9時以降に行ってください。
 - ・補助競技場がありませんが、大会期間中は、むつ運動公園スポーツ広場において短距離・長距離・ハードル・競歩・跳躍補助練習等に利用できます。
 - ・投擲練習（円盤投・ハンマー投・やり投）は、5日（木）から終日行うことができません。砲丸投のみ、投擲ピットで投擲練習を行うことができます。
 - ・本大会では、スタートシグナルは電子音を使用します。
- ※大会前日5日（木）の13時～18時に、主競技場においてスターター研修会を行います。参加選手は電子音の確認及びスタート練習を行うことができます。

2018 年度 第 73 回国民体育大会陸上競技青森県選手選考会
兼第 45 回東北総合体育大会陸上競技青森県選手選考会
兼第 49 回東北陸上競技選手権大会青森県選手選考会 競技注意事項

1 競技規則について

(1) 本大会は、2018 年度(財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は、別添資料の「練習時間及び場所について」に従い行うこと。
(2) 練習は、原則監督の付き添いのもと安全に留意し事故防止に努めること。

3 招集について

- (1) 招集所は 100m スタート付近スタンド下に設置する。ただし、フィールド競技の招集は、競技実施場所で行う。
(2) 招集開始時刻(点呼開始時刻)及び招集完了時刻(移動開始時刻)は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

トラック 競 技	種 目	100m 100mH 200m 110mH 400m 400mH 800m 4×100mR	種 目	1500m 3000m 3000mSC 4×400mR	種 目	5000m 10000m 5000mW				
	組	開 始	終 了	組	開 始	終 了	組	開 始	終 了	
	1～5	30 分前	15 分前	1～3	30 分前	15 分前	1	30 分前	15 分前	
	6～10	15 分前	0 分前	4～	15 分前	0 分前	2	15 分前	0 分前	
	11～15	0 分前	15 分過	*	*	*	3	0 分前	15 分過	
16～	15 分過	30 分過	*	*	*	*	*	*		
フィールド 競 技	種 別	跳 躍		種 別	棒 高 跳		種 別	投 て き		
		開 始	終 了		開 始	終 了		種 目	開 始	終 了
	予・決	60 分前	50 分前	決	60 分前	50 分前	決	砲丸投 ハンマー投	40 分前	30 分前
								円盤投 やり投	60 分前	50 分前

(3) 招集の方法

- ①競技者は招集開始時刻(点呼開始時刻)までに招集所に集合して、競技者係より点呼を受ける。その際、ユニフォーム、ナンバーカード、競技用シューズ、商標および競技場内への持込物品などについて確認を受ける。なお、携帯電話などの通信機器は競技場内に持ち込んではいない。持ち込んだ場合は失格とする場合がある。
②点呼終了後、招集完了時刻(移動開始時刻)に競技場内のスタート地点に移動する。原則としてスタンドの外を通ること。スタンド前及びスタンド下本部前を通らないこと。
③代理人による最終点呼は認めない。
④招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(4) 招集の留意点

- ①出場すべき競技種目を棄権する場合は、「欠場届」(プログラムに掲載)に顧問または監督が記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出すること。

②同時刻帯に2種目兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所に用意してある「多種目同時出場届」に記入し1種目目の招集時に招集所へ提出する。競技については担当競技役員に申し出て指示に従うこと。

(a) フィールド競技に戻った場合、競技が終了していれば追加試技は行わない。

(b) 走高跳・棒高跳においてはパス扱いとし、戻った時の高さから始める。

(c) 走幅跳および砲丸投、円盤投、ジャベリックスローについては、競技に戻った時点のラウンドの試技を認めるが、トップ8が確定してからの試技は認めない。

③招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとして処理する。

④リレーオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。なお、一度オーダー用紙を提出した場合、時間内であっても訂正のオーダー用紙は受け付けない。

(5) 招集に関する提出書類は次のとおりである。

書類の種類	準備場所	提出場所	提出時刻
欠場届	プログラム掲載	招集所競技者係	招集開始時刻
多種目同時出場届	招 集 所	招集所競技者係	招集開始時刻
リレーオーダー用紙	招 集 所	招集所競技者係	招集開始時刻1時間前
棒高跳支柱移動届	招 集 所	招集所競技者係	招集開始時刻

4 ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは配布されたままの大きさと胸部と背部に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部の一方でよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は腰ナンバーカードをパンツの右やや後方につける。腰ナンバーカードは招集所で配布する。競技終了後、フィニッシュ地点でカゴに入れること。

(3) 特別ナンバーカード(3000m以上の長距離、競歩、4×400mR)は、召集時に配布する。競技終了後、フィニッシュ地点で回収補助員に返却すること。

5 番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技の組合せ及び走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で示す。

(2) トラック競技の準決勝以降の組合せ及び走路順は、主催者が決定し、決定次第招集所の掲示板に掲示する。

(3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたとき(以下同タイム者という)は、次の方法で決定する。

①100m・200m・400m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者(チーム)については、細部(電気計時1/1000)まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。

②800m・1500m・3000m・5000m・3000mSC・10000mの同タイム者については、細部(電気掲示1/1000)まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、次のラウンドに進むことができる。その際、最終枠の同記録者で抽選を行う。同記録者が2人のとき、9人目の選手が入るのは8レーンとする。その場合、外側2レーン中位グループで抽選を行う。同記録者が

3人の場合、10人目の選手が入るレーンは2レーンとし、内側2レーンは下位グループで抽選を行う。

6 競技について

- (1) スタートの合図は英語で行う。本大会では、スタートシグナルは電子音を使用する。不正スタートをした競技者は、一回目から失格となる。
- (2) スタートについて（本競技会における第162条5の取り扱い）
「On your marks」あるいは「Set」の合図のあと
 - (a) 合図の後で正当な理由もなく手を挙げたり、立ち上がった場合
 - (b) 合図に従わない、遅れることなく速やかに最終の用意の位置につかない
 - (c) 合図後、大きな音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときこれらの不適切行為を行ったときには警告対象としてイエローカードを提示することがある。2枚のイエローカードの提示を受けた競技者は当該種目のみ失格とする。また、「Set」後タイミングを遅らせて腰を上げる、体が静止しなかった（ピクッと動く、腰のふらつきなど）場合には注意にとどめるが繰り返し行われたときはイエローカードを提示することがある。このときも2枚のイエローカードで当該種目は失格とする。
- (3) トラック及びフィールド内には、競技者並びに役員・補助員以外は立ち入ることはできない。
- (4) 競技者は、ビデオカメラ・オーディオプレーヤー・トランシーバーや携帯電話（携帯型端末器も含む）もしくは類似した機器を競技区域内で使用してはならない。
- (5) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り抜けること。
- (6) リレーにおいては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用するものとする。
- (7) リレーオーダー用紙は、一度オーダー用紙を提出した場合、時間内であっても訂正のオーダー用紙は受け付けない。ただし、医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成の変更は認められない。
- (8) リレーにおけるメンバーの編成は、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる（奨励種目のみの競技者は別扱いとする）。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は該当リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーはその後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
- (9) リレーで使用するマーカー（粘着テープ）は各チームで用意し、レース終了後は撤収すること。
- (10) 4×400mRにおける第3・4走者は審判員の指示に従い、前走者が200mスタート地点（黄色旗）を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。
- (11) 競歩競技において制限時間を設ける。5000mWは男子35分、女子40分を経過後、1周以上残っているときは失格とする。ただし、競技の進行状況によっては、その限りではない。
- (12) 走幅跳・三段跳・棒高跳及びやり投に出場する競技者は、助走路の外側に各自が用意したマーカーを2個まで置くことができる。なお、走高跳競技に出場する競技者は、助走路内に各自が用意したマーカー（粘着テープ）を2個まで置くことができる。
- (13) 男子三段跳の踏切板から砂場までの距離は12mとする。また、女子三段跳の踏切板から砂場までの距離は9mとする。ただし、天候その他の条件によって変更する場合もある。

- (14) 棒高跳競技に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。ただし、希望する支柱の位置を予め係に申告すること。また、競技開始後に事前に申告し支柱の位置を再変更する場合は、支柱がセットされる前に当該審判員に申し出ること。
- (15) 競技規則第 145 条 2 及び第 162 条 5 の適用により、本競技会中に不当な行為（非社会的行為などが相当）で警告を 2 回受けた競技者は本競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。
- (16) 競技結果などは記録処理終了後、随時、青森陸上競技協会HPにて発表する。
(大会プログラム表紙のQRコードを参照してください)

7 競技用具について

- (1) 競技者が本大会で使用する用具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 競技者個人の器具は、練習用といえども競技区域内に持ち込んではならない。

8 スパイクシューズの制限について

- (1) スパイクの本数は 11 本以内とする。
- (2) スパイクの長さは、9 mmを超えてはならない。走高跳及びやり投競技においては 12 mmを超えてはならない。直径は、先端が 4 mm以内でなければならない。

9 バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳の高さ及びバーの上げ方は次のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男子走高跳	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	2m00	2m03	2m06
女子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	1m70	1m73
男子棒高跳	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00
女子棒高跳	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00

①上記のバーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判が決定する。

②第 1 位に同順位者が出た場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳 2 cm、棒高跳では 5 cm単位とする。

10 予選通過記録及び計測標準記録について

<男子>

走幅跳	6m20
少年 B 走幅跳	5m50
少年 B 砲丸投	10m00
やり投	42m00
少年 A ハンマー投	30m00
少年共通円盤投	30m00

<女子>

走幅跳	4m80
少年 B 走幅跳	4m40
砲丸投	9m00
やり投	25m00
ハンマー投	20m00
円盤投	24m00

11 抗議について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、規則第 146 条に基づき、正式に結果が発表されてから 30 分以内に、また、次のラウンドが行われる種目ではその結果が発表されてから 15 分以内に、競技者自身または代理人が口頭で審判長に申し出る。
- (2) 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者にかわる責任者が当該総務員を通じてジュリーに文書と預託金 1 万円を添えて正式な抗議の手続きをとる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

12 競技者の競技場内への持ち込み物品について

- (1) 競技者は競技場内（練習場も含む）に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合は、規定にあったもの以外持ち込んではいならない。
- (2) 商標について
商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に違反したものについて主催者で処置する。

①上半身の衣類（ベスト・レオタード等）

- ・ベスト：衣類の製造会社名/ロゴを前に 1 ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ 4 cm 以内、トータルロゴの高さは 5 cm 以内で、面積 30 cm²以内の長方形とする。
- ・レオタード：衣類の製造会社名/ロゴを前に 1 ヶ所または 2 ヶ所表示できる。1 ヶ所の場合は、文字の高さ 4 cm 以内、トータルロゴの高さは 5 cm 以内で面積 30 cm²以内の長方形とする。2 ヶ所の場合はウエストより上部、下部にそれぞれ 1 ヶ所とするが、それぞれの表示が接してはならない。それぞれの文字の高さは 3 cm 以内、トータルロゴの高さは 4 cm 以内で、面積は 20 cm²以内の長方形とする。
- ・トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット：衣類の製造会社名/ロゴを衣類の前（右胸か左胸）に 1 ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ 4 cm 以内、トータルロゴの高さは 5 cm 以内で、面積 40 cm²以内の長方形とする。

②下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等かぎ [レオタードを除く]）

- ・製造会社名/ロゴを 1 ヶ所表示することができる。高さは 4 cm 以内、面積 20 cm²以内とする（ソックスは高さ 3 cm 以内、面積 6 cm²以内とする）。

③競技中に競技者によって使用されるその他の衣類（ヘッドギア・帽子・ヘッドバンド・手袋・メガネ・サングラス・リストバンド等）

- ・製造会社名/ロゴを衣類 1 つにつき 1 ヶ所表示することができる。面積は 6 cm²以内とする。

④バッグ

- ・製造会社名/ロゴは、各バッグ 2 ヶ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは 25 cm²以内とする。

13 表彰について

- (1) 各競技種目の表彰は第8位までとする。
- (2) 表彰対象競技者は、競技終了後直ちに、表彰控え場所へユニフォームを着用して集合すること。
- (3) 表彰場所は、主競技場メインスタンド前で行う。状況等によってはメインスタンド下で行う。
- (4) 4×100mR・4×400mRの表彰は第1走者～第4走者の4名で行う。

14 その他

- (1) 救急、救護に関する処置は、メインスタンド下の医務室で応急処置のみ行う。
- (2) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場側の許可なく手配しない。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うため、詳細を含め大会本部に連絡する。
- (3) 大会本部でトレーナーをスタンド下トレーナー活動場所に配置している。利用は選手に限る。
- (4) テント等の設営は、競技場のサイドスタンド及びバックスタンドの芝部分に設営すること。通路を妨げて設営したり、柵へ取り付けたりしないこと。また、競技終了後は、毎日たたむこと。
- (5) 競技場内の更衣室は使用してもよいが、休憩場所や控え場所としての使用は禁止する。
- (6) 届けられた遺失物については、大会本部で保管する。
- (7) 応援はスタンドで行うこと。ただしメインスタンドでの集団での応援は禁止する。応援に当たっては、競技者や競技運営に支障のないように十分配慮すること。特に、フィールド競技の進行に支障のないように十分注意すること。
- (8) 盗難等がないよう持ち物及び貴重品の管理には十分注意すること。
- (9) 招集所からスタート地点への移動は、原則スタンドの外を通ること。スタンド前は絶対に通らないこと。
- (10) その他、不明な点は大会受付・大会本部に問い合わせる。